

あさかの里だより 83 号

発行：社会福祉法人郡山社会事業協会 あさかの里
〒963-8862 福島県郡山市菜根 3 丁目 15 番 3 号
TEL 024-939-3401 FAX 024-939-3491
E-mail asakanosato@ac.auone-net.jp



お花見レクリエーション



ボウリング大会



米沢日帰り旅行



~CONTENTS~

- P.2 自立生活援助事業所ぱれつと開設
- P.3 障がい者体育大会、ボウリング大会 より
- P.4 ピアサポーター体験実習報告
- P.5 ピアスタッフ活躍してます／日帰り旅行 & ぶどう狩り より
- P.6 あさかの里まつり開催のご案内／協賛の御礼／新人スタッフ紹介



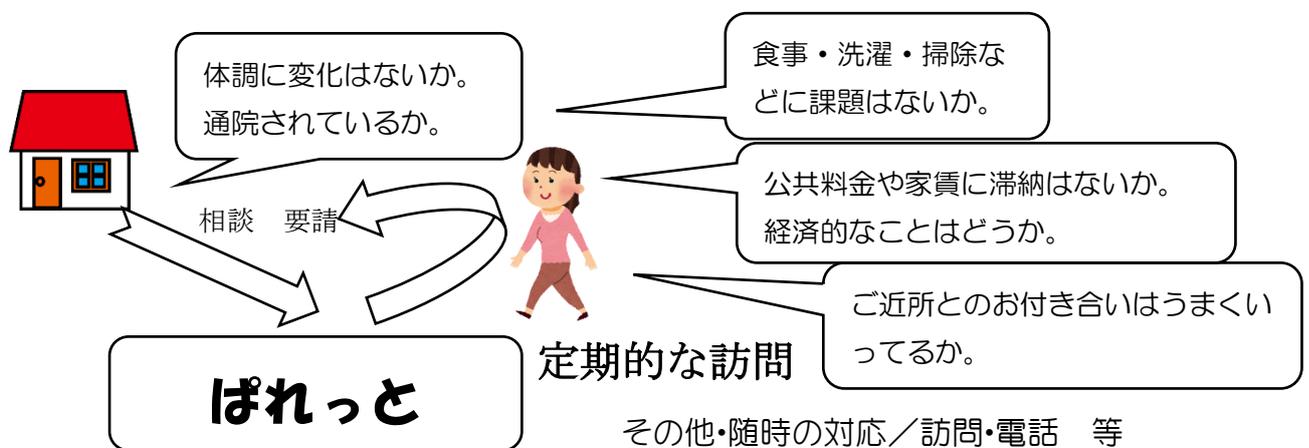
自立生活援助事業 **ぱれっと** 開設

あさかの里では、今年度7月より、新たに自立生活援助事業所『ぱれっと』を開設いたしました。

●自立生活援助事業ってなに？

地域で一人暮らしをされている知的障がい者や精神障がい者に対して、定期的に自宅を訪問して、生活状況等を確認し医療機関や関係機関と連絡調整し、安心して安全な生活が続けていけるように、様々な支援、援助を行う事業です。

対象は…病院を退院して、一人暮らしをする予定またはしている方、グループホームを退所して、一人暮らしをする予定またはされている方の中で、訪問による支援・援助を希望する方。既に一人暮らしをされている方も対象になります。ただし、単に「さみしいから話し相手になって…」とか、「自分で身のまわりのことある程度できている方」などは対象にはなりません。



●日常生活、医療、経済、地域との関係等について確認して、必要な助言や医療機関、関係機関等との連絡調整を行います。必要に応じて、必要な援助を行います。ご本人と一緒に行っていきます。

●どこでやるの？

所在地は、あさかの里の事務所の中にありますが、訪問による支援をするところですので、事務所にいる時間は少ないこととなります。携帯電話を携帯しています。

●誰がやるの？

サービス管理責任者1名(他の事業との兼務)のほか、地域生活支援員というスタッフが1名です。

開設に当たり、名称を募集しました。

皆様からいただいたネーミング…

まごのて／かがやき／ひまわり／あしたば／はばたけ／

at home やすらぎ／にしじろ／ういず・ゆう／たんぽぽ／ねむのき



☆厳正なる審議の結果、「ぱれっと」に決まりました。匿名希望さんありがとうございました。

「絵の具を混ぜて様々な色をつくるパレットのように、それぞれの人の夢や希望をいろいろな支援を組み合わせたりしながら、その人なりの暮らしに色を付けていくような活動を目指していく」という思いが込められています。

(朝生)

障がい者体育大会



5月20日(日)にいわき市南部アリーナで福島県障がい者総合体育大会が開催され、あさかの里から3名が卓球競技に出場しました。



結果：郡司敏郎さん、佐藤久美子さん 3位入賞



あさかの里



ボウリング大会

in ボウルアピア

7月19日(木) 毎年恒例のあさかの里ボウリング大会が行われ、メンバーとスタッフ合わせて40名以上が参加しました。

優勝 すまいるチーム



ピアサポーター 体験実習

「ピア」とは「仲間」という意味で、「ピアサポート」とは「仲間同士の支え合いの活動」のことです。「精神障がい者ピアサポーター」とは、自らの精神障がいや精神疾患の経験を生かし、ピア（仲間）として支え合う活動をする方々のことを言います。精神障がいを持ちながらも、現在、生き生きと地域で生活しているピアサポーターの姿は、回復途中の精神疾患や精神障がいを持つ当事者やその周囲の方の「希望」となります。又ピアサポーターは、当事者にとって、「仲間」として気持ちが分かりあえるよき理解者となります。想定される活動としては、

・精神科病院の入院患者さんやそのご家族、病院スタッフ、地域の方々に、病気とのつきあい方や地域での生活に関する体験談をお話する。

・精神科病院の入院患者さんとの交流会に参加する。

・退院準備のため、グループホームの見学に同行する。・退院して地域生活をする方に寄り添って、退院準備のための活動に協力する。

・市町村のデイケアや研修会に協力する。 等です。 【福島県精神保健福祉センター より】

福島県では平成23年度から5年間にわたり、精神障がい者ピアサポーター活動支援事業として、ピアサポーターの養成研修が実施されました。ピアサポーターの数は115名になるそうです。それらピアサポーターを実際に雇用に結び付けるための事業も行われています。ピアサポーターの経験と知識を生かし、福祉事業所等で、実際にスタッフとして雇用され、ピアスタッフというような形で働くことを目指す取り組みです。

昨年度「職場体験モデルケース事業」が行われ、あさかの里の3名のピアサポーターの方が、あさかの里の各事業所で体験実習を行いました。ピアサポーターとして事業所の中で、そのスキルを生かして働くための体験です。スタッフ側も、もし事業所の中にピアサポーターという位置づけの人がいることを想定して、実際に一緒に働いてみる体験になりました。それぞれ1週間程度の短期間でしたので、顔を覚えたり、ピアサポーターの役割などを説明したりということで、具体的にピアサポーターとしての役割や経験等を発揮してもらうまでには至らなかったようです。事業所の中での役割や位置づけ、ある意味で“職種”として、有効に活躍していくまでには、より多くの時間や体験などが必要なのだと感じました。実習を終えた感想をいただきましたので、ご紹介します。 (朝生)

ピアサポーター実習を終えて リズム... 相樂貴弘

私がこの実習で感じたことは、仕事を教えてもらう時のリズムの重要性です。慣れた仕事なので早いテンポで教えてしまいがちですが... その人に合ったリズムかゆっくりとしたテンポで教えられれば仕事習得にさほど時間がかからないのかと思います。仕事上、時間に追われがちでなかなか時間が取れず、見過ごしがちですが重要なことに思えます。

すまいるの実習の時に、メンバーさんと仕事を一緒にすることになりました。最初は、いつものような教えるスピードで教えてたのですが、どうも理解ができなかったみたいなので、その人のリズム(テンポをゆっくり)で、教えてみようと思いゆっくりしたペースでも良いから、その人の指示で仕事をするようにして間違っているときだけ違うよっと修正をしました。そしたら、時間はかかりますが... 仕事の内容は理解されていることに気づかされました。後は、スピードさえつけば、良いのだと思いました。第2暁紫舎では、今度は私が仕事を教えられる番で、最初、箱折りの仕事を教えてもらったのですが、折り方が速く手順を理解できずに何度も繰り返してもらう羽目に...。それで、どうにかこうにか自分のペースで折ってみて、何とか折れましたが、しわをつけてはいけなかったので四苦八苦しました。

教え教えられと、昔から言いますが... 今回の実習で私は、仕事のリズムって大事なんだと思いました。慣れればスピードはおのずと速くなるので、引け目に感じる必要はないものと思いますが... 教える場合、自分のスピードで教えてしまうと相手の方が理解するまでに時間がかかり過ぎになってしまうものなのか、ということです。ゆっくりでも良いんだよと言ってはもらえますが、実際当事者になると、引け目を感じるものです。第2暁紫舎で劣等感の塊でしたか

ら...そんな時に、ピアサポーターが役に立つのかもと思いました。

私にとって、今回の実習は、上記のようなことを感じる大変貴重な時間となりました。私も慣れた仕事では、スピーディーにこなせますが、教えてもらう立場では、リズムが速いと理解できない、という体験ができました。最後に、この実習に関わった人すべてに感謝を申し上げます。ありがとうございました。すまいるでまた、いちメンバーとして、お世話になります。これからも宜しくです。

ピアスタッフ活躍しています。どうぞよろしくお願い致します。

あさかの里には現在、ピアサポーター養成講習を受けた方が、5名います。

グループホームの世話人の配置人数、特に休日の支援体制を再検討していく中で、今回の体験実習をきっかけに、ピアサポーターの方たちの知識や経験を生かして、実際にスタッフと一緒に支援していただくことを具体的に検討しました。4月より、2名の方をピアスタッフとして雇用契約を結んで、グループホームの休日の訪問支援に加わっていただいています。月2回程になります。日頃は所属している事業所の一利用者ですが、グループホームの支援に入るときはピアスタッフという立場になります。立ち位置が難しい面もあり、2名の方には不安な面が多々あるのではと想像されますが、自らの体験などを生かして、少しずつ皆に顔を覚えてもらい活動してきています。所属先の事業所の中でも、ピアサポーターとしての役割をスタッフ側が認識して、例えば、利用希望の方の見学や実習生の見学の際の対応や、新しい利用者へ寄り添って一緒に仕事をしてもらうなどしています。自分たち自身の中でもピアサポーターとしての自覚を持って仕事にあたっているように感じています。2名のピアスタッフをご紹介します。 (朝生)

訪問した先では、皆さん色々な悩みなどを抱えながらも充実した生活をされている様に思っています。私もそうですが、薬とはこれから先長く付き合っていくかなくてはいけないのではないかと考えています。私もグループホームで生活していますが、寮で生活している人たちは、家族ではできないことを、あさかの里の職員の方にサポートしていただいて、充実した生活をされていると思いました。これから先も、仲間の間でできることをお互いに支え合って協力していけたらよいと思います。休日の訪問をすることで、当事者同士で良い交流ができればと思います。悩みがあった時に必要とされる存在でありたいと思っています。理解者と協力者のもとにともに、それぞれ生きがいを持って、お互いに病気に負けないように生活できればよいと思っています。 郡司敏郎

4月からピアスタッフとして月に数回、グループホームの訪問をしています。緊張ばかりで話すのもやっとで反省したりしました。中には「大丈夫かな...」「来てほしくないな...」とされている皆さんもいらっしゃるかと思います。当事者だからこそ、分かりあえることもあるかもしれませんし、皆さんから学ぶこともたくさんあります。まずは信頼関係を築き、コミュニケーションをうまく交わせるように、話しやすい環境をつくっていきたいです。悩みや困っていることなどに耳を傾け、寄り添い、一緒に考えていけたらいいなと思っています。自分一人ではないので、溜め込まずにいきましょう！またスタッフの皆さんやメンバーの皆さんに迷惑をかけることもあると思います。自分なりに努力して仲間として、支えていけたらと考えております。これからも宜しく申し上げます。 渡部友美



日帰り旅行&ぶどう狩り to米沢

去る9月13日、総勢48名で貸切バスにて、米沢方面に出かけました。午前中、我妻観光果樹園にて旬のぶどう狩りをして、あま〜いぶどうを堪能し、上杉神社へ参拝しました。お昼はよねおか観光センターにて米沢牛の釜めしをいただき戻ってきました。さわやかな秋晴れの下、のんびりと秋の一日を楽しみました。



協賛の御礼

行事開催に当たり、ご協賛いただきました。
心より御礼申し上げます。

・あさかの里ボウリング大会

株式会社 戸田商店様 ～ お菓子

コカ・コーライーストジャパン株式会社様 ～ ペットボトルお茶（綾鷹）

・米沢日帰り旅行

株式会社 戸田商店様 ～ お菓子

株式会社 サントリービバレッジ様 ～ ペットボトルお茶（流々茶）

あさかの里まつり開催日決定！！

Happy Halloween!



10月27日(土) 10:30～14:00

※それに伴い、バザー品の提供をお願い致します。

日用品、衣類、その他バザーに出せそうなもの

(新品、未使用のものでお願い致します。)

連絡先 あさかの里グループホームステーション

TEL 024-944-3688 (10:00～16:00 土・日・祝はお休み)

ご一報いただければ郡山市内に限りお受け取りに伺います。

新人スタッフ紹介

第二花みずき 八板美佐子さん

4月より第二花みずきの調理を担当しています。

慣れない事ばかりですが頑張っておいしい料理を作りたいと思います。宜しくお願い致します。

花みずき 中條恵さん

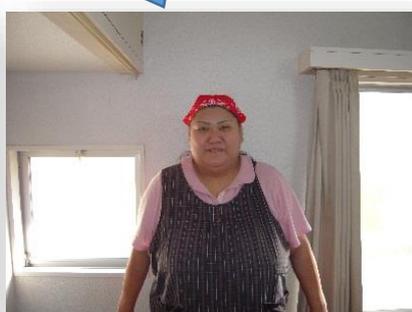
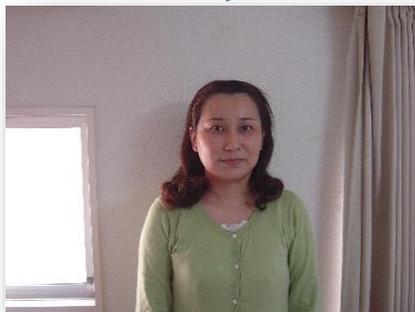
5月よりあさかの里花みずき寮の調理を担当させていただいています。

「食」を通して、メンバーさんが笑顔になれる様な美味しい料理を提供していきたいと思っています。宜しく申し上げます。

あおば寮 野口艶子さん

8月よりあおば寮の調理を担当させていただいております野口と申します。

微力ながら健康面、栄養面を考えながら食事作りが出来ればと思っております。宜しく申し上げます。



平成30年度広報委員 朝生 裕之 山内 誠也 石黒 貴之